



天文学の扉を開こう

4月の夜空

オリンピックとセンター試験と中性子星合体(1)

春は、新しいスタートの季節です。高山村でも、小学校や中学校では入学式が行われ、進学や就職のため村外に旅立つ人もいることでしょう。「天文学の扉を開こう」も、今年度は少し趣向を変えて、最近のニュースから宇宙の話題をピックアップし、何回かに分けて解説していきたいと思います。

さて、冬季オリンピック史上最大のメダル13個を獲得し、日本中を沸かせたピョンチャン・オリンピック、まだ記憶に新しいことと思います。みなさんは、どの競技や選手が一番印象に残ったのでしょうか？「そだねー」が流行語大賞になるかもしれない女子カーリングですか？やっぱり、二人仲良く表彰台に並んだ、男子フィギュア・スケートの羽生結弦、宇野昌磨、両選手でしょうか？

天文学の話はずなのに、なぜオリンピックなんだろうと不思議に思われた方もいらっしゃるかもしれません。新年度最初のテーマでは、オリンピックの金メダルや銀メダルにちなんで、金や銀のような「重たい元素」は一体いつどこでどのようにしてできたか、ということについて掘り下げてみたいと思います。

中学の理科の時間や、高校の化学の時間を思い出してみましょう。元素というと、私たち自身の体や、私たちの身の回りのあらゆる物、はるか彼方の星までも構成している、いわばレゴのブロックのようなものです。レゴにもいろいろな形のブロックがあるように、現在118種類の元素が見つかっています。

ところが、138億年前、ビッグバンで宇宙が生まれたばかりのころには、ほとんどが水素とヘリウム、ほんの少しばかりリチウムという元素があるだけで、それ以外の元素は存在しませんでした。もし仮に、宇宙が現在までそのような状態だったら、私たち人間も存在できないこととなります。それでは一体、どのようにして現在のような多種多様な元素ができていったのでしょうか？来月は、今年の大学入試センター試験と絡めて、この問題を考えてみましょう。



4月のぐんま天文台のイベント

- ・21日(土) スマホやデジカメで月を撮ろう
- ・28日(土)～30日(月・振休) GW特別企画

○星図の説明

4月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります(「月」を除く)。



わが家の

アイドル



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております。(*^_^*) ☎26-7944(直通)



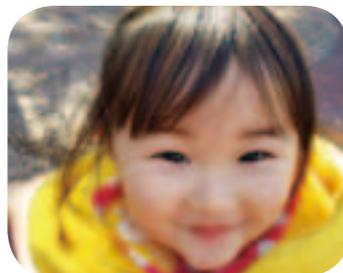
判形 後藤麻依ちゃん(2歳)

私の名前は「まい」です。
優しく人を包んでくれる様な人になって欲しいと思いを込めて名付けてもらいました。
いつも大好きなお姉ちゃんと一緒におままごとやお店屋さんごっこをして遊ぶんだよ！好きな食べ物は、とうもろこしときこの。夏になったら、とうもろこしをいっぱい食べたいな。
今は、ママの料理のお手伝いするのが一番楽しみ！卵を上手に「まぜまぜ」できるんだよ。



原 阿部瑛太くん(2歳)

僕の名前は「えいた」です。
明るく素直で親しみをもってもらえるようにと思いを込めて「瑛太」というカッコイイ名前をパパが名付けてくれました。
大好きなお兄ちゃんといつも一緒に遊んでいるのが楽しいよ！布団の上で、でんぐり返しや飛び跳ねたりするのが得意なんだ！
じーじが畑に行くときは、いつもダンプに乗せてもらえるからうれしんだよ。あと重機やユンボ、ローダーも、かっこいいから好きだよ。



原 坂本梨多ちゃん(2歳)

私の名前は「りた」です。
沢山の人と出会い、沢山の感情を育て、人に優しく喜びあふれる人生になりますようにと名付けてもらいました。
ディズニーの絵本を読んだり、おままごとをするのがとても楽しいの！
大好きなプリンセスになれるように、歌ったり踊ったり、みんなに披露しているのよ。
ママのお手伝いを沢山してくれるから、一緒に色々出来て楽しいよ！とママ。

お礼のごとば

地域おこし支援隊

戸井田 裕希

知らない土地で不安ばかりでしたが、皆さんのおかげで3年間活動を続けることができました。本当にありがとうございました。三並山が最高に好きでした。バンド仲間や友達もできました。

来年度からは村を出ますが、引き続き観光分野から群馬県を盛り上げるために活動しますので、今後とも末永くよろしくお願いします。県内から、村へ観光客をつなぐハブ役になっていけたらなと思います。またふらっと遊びにきますので、今までのように迎えていただけると嬉しいです。

地域おこし支援隊

齊藤 瑞代

時が過ぎるのは早いもので、あっという間に春になりました。春は別れと出逢いの季節です。3年前の4月に緑のふるさと協力隊として初めて高山村に来たのが昨日のように感じます。右も左もわからない私に、高山村の皆様は優しく、時には厳しく色々教えてくださいました。皆様が支えて、応援してくださったお陰様で、3月末をもちまして無事に協力隊・支援隊の任期を満了して卒業することができました。引き続き高山村にいますので、見かけましたら「しばちゃん」でも「齊藤さん」でもどちらでも構いませんので、お声掛けいただければ幸いです。3年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。

